

# 複合的資源管理型漁業促進対策事業

## (太平洋海域フォローアップ調査分)

1. ヒラメ (第Ⅰ期対象魚種)
2. マコガレイ (第Ⅱ期対象魚種)

(抄録)

蛸名 政仁・小向 貴志

目 的 資源管理対象魚種の漁獲動向等を把握する。

結 果

### 1. ヒラメ

#### 1. 1 漁獲統計調査

青森県における 2001 年のヒラメ漁獲量は、1,230 トンで前年比 68%であった。漁獲金額では、14 億 4,739 万円で前年比 86%であった。海域別には、太平洋が 635 トン、津軽海峡が 304 トン、陸奥湾が 134 トン、日本海が 158 トンであった。

漁獲量が前年より大きく減少した主な要因は、太平洋海域で例年 9 月から 11 月に漁獲される小型魚の漁獲が大きく減少したことによるが、前年の場合は 1999 年に発生したヒラメが卓越年級群となり著しく高い漁獲をもたらした特異的な年であったため比較はできなものの、それより以前の 2 年前、3 年前と比較してみると 2001 年の漁獲量は、それと同等レベルの高い漁獲水準であった。

#### 1. 2 ヒラメ稚魚分布調査

ヒラメの着底稚魚を対象とした分布密度調査は、8 月 12 日、9 月 15 日、10 月 8 日の 3 回行った。桁網による曳網試験の結果、採集されたヒラメ着底稚魚の全長範囲は 41~147mm であった。この 3 回にわたる曳網調査中における分布密度のピークは、9 月 15 日で、7.8 尾/1000 m<sup>2</sup> (漁獲効率 1) であった。

### 2. マコガレイ

#### 2. 1 漁獲統計調査

青森県における 2001 年のマコガレイの漁獲量は、385 トンで前年の漁獲量 (382) とほぼ同等であった。漁獲金額では 33,065 万円であった。漁獲量は、1998 年以降、僅かながら減少傾向となっている。海域別には、太平洋が 144 トン、津軽海峡が 82 トン、陸奥湾が 128 トン、日本海が 34 トンで、本県太平洋地域としての合計では 351 トンと、県全体の 91%を占めている。

時期別漁獲量は、各海域ともに 12 月から 2 月に多いが、最盛期は陸奥湾が 12 月、太平洋が 1 月、津軽海峡では 2 月頃と海域によって異なっている。